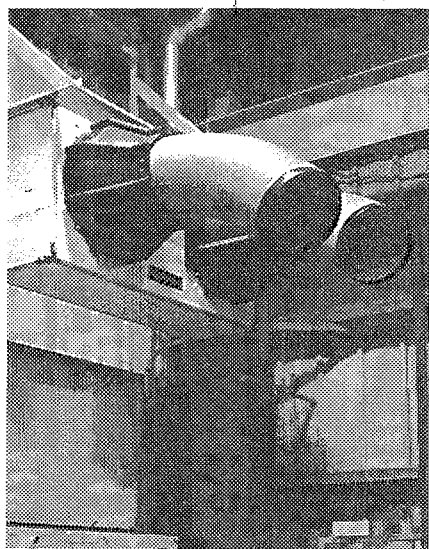




大和合金 高性能空調設備を導入 1000万円投じ工場内の環境改善

大和合金はこのほど、約1千万円を投資して三芳工場(埼玉県三芳町)に高性能なエ

リア空調機を導入した
写真。作業現場の環

境改善が狙い。切断・梱包・出荷を行う建屋に、20畳先まで冷却できる高性能な設備を2機導入している。

導入した部門は同工場内でも温度が高い場所の一つ。暑さによる集中力の低下は災害にもつながることから、昨今の猛暑なども勘案して環境改善のための投資を決めた。

同社では将来的な労働人口減が見込まれる中で人材を確保し続けるためにも、職場環境の改善を重視。熱中症対策では今回の高性能空調機導入に加えて、身体深部の体温をモニタリングする腕時計型の端末を活用。熱中症になる前に音や光で周囲に知らせ、適切に休憩が取れるようにするなどさまざまな取り組みを進めている。